

目次

目次

とくしま教員育成指標

〈改訂版〉

目次

目次

目次

目次

目次

目次

目次

目次

目次

目次

目次

目次

目次

目次

目次

目次

平成31年2月

徳島県教育委員会

目 次

I	とくしま教員育成指標策定の背景及び趣旨	1
II	とくしま教員育成指標の基本方針	
1	目的	1
2	本県が目指す教員像	1
III	とくしま教員育成指標の内容	
1	対象職種等について	1
2	キャリアステージについて	1
3	求められる資質・能力について	3
IV	とくしま教員育成指標の活用例	5
V	とくしま教員育成指標を踏まえた教職員研修	5
	とくしま教員育成指標	
1	小学校教諭用	6
2	中学校教諭用	8
3	高等学校教諭用	10
4	特別支援学校教諭用	12
5	養護教諭用	14
6	栄養教諭用	16
7	管理職用	18
	とくしま教職員研修体系	20

I とくしま教員育成指標策定の背景及び趣旨

学校現場においては近年、教員の大量退職・大量採用等の影響により、年齢構成や経験年数の不均衡が生じ、先輩教員から若手教員への知識・技能の伝達が困難な状況となるなど、教員を巡る環境が大きく変化している。

また、グローバル化や情報化の急速な進展等、世の中が急速に変化する中であって、こうした状況を踏まえた新しい時代の教育に対応し、学習指導要領の趣旨を実現するための教員の資質向上に向けた環境を整える必要がある。

平成28年11月、教育公務員特例法の一部改正法が公布され（施行は平成29年4月1日）、教員の養成・採用・研修を通じた新たな体制の構築等のため、公立の小学校等の校長及び教員の任命権者は、大学等からなる協議会における協議を経て、文部科学大臣が策定する指針を参酌しつつ、地域の実情に応じ、教員等資質の向上に関する指標を策定するとともに、指標を踏まえた教員研修計画を定めることとされた。

こうした状況を踏まえ、徳島県教育委員会は、大学・市町村教育委員会・学校・企業関係者及び徳島県教育委員会事務局関係者で組織する「とくしま教員育成協議会」を設置して協議を行い、教員等が高度専門的職業としての職責、経験及び適性に応じて身に付けるべき資質・能力を明確化するため、「とくしま教員育成指標」を策定した。

II とくしま教員育成指標の基本方針

1 目的

本県の教員一人ひとりが自身のキャリア段階を想起できる共通の「指針」、管理職等のマネジメントによる人材育成の「道しるべ」を示すことにより、教員が教職生活全体を通して、効果的・継続的に学び続ける意欲を喚起する。

2 本県が目指す教員像

「徳島教育大綱」における基本方針、「とくしまの未来を切り拓く、夢あふれる『人財』の育成」を目指し、主体的に学び続け自己を高める教員

III とくしま教員育成指標の内容

1 対象職種等について

小学校教諭，中学校教諭，高等学校教諭，特別支援学校教諭，養護教諭，栄養教諭，管理職

2 キャリアステージについて

「採用時に本県が求める姿」をスタートに、成長段階を大きく3ステージに分けて

いる。ただし、第2ステージは、キャリアアップの目標をより明確に意識し、段階的にミドルリーダーとしての資質・能力の定着を図ることができるよう、さらに2つに分けている。

なお、教員等のキャリアアップには個人差があるため、経験年数や年齢によって一律に分けて示すのではなく、学校現場や個人の状況・役割等に応じて、現在の自分がどこに当てはまるのかを判断したり、資質・能力の向上を図ったりする際の目安とする。

○採用時に本県が求める姿【養成期】

教員として児童生徒を教育する意欲をもち、教育活動に取り組むための基礎的な知識・技能と幅広い教養を身に付けている姿を目指している。

○第1ステージ【基盤形成期】

学習指導や生徒指導・学級経営についての実践的指導力を磨き、教職生活の基盤を固めている。組織の一員として、他の教員と積極的に関わり、業務を誠実に遂行する中で、自身が果たすべき役割への自覚を高めている。また、保護者や地域社会と関わる習慣と、実践を振り返り改善する習慣を身に付けている姿を目指している。

○第2ステージ【前半：伸長・充実期 後半：深化・発展期】

実践的指導力に関する専門性を高めるとともに、ミドルリーダーとしての推進力を発揮している。

ステージ前半では、若手教員を支援したり、校内のグループリーダーとして他の教員と連携したりしながら業務を遂行する中で、ミドルリーダーとしての自覚をもっている姿を目指している。

ステージ後半では、ミドルリーダーとしての役割と責任を自覚し、前半に身に付けた力を組織の活性化に向けている。学校の教育活動の中核として積極的に他の教員や家庭、地域に働きかけている姿を目指している。

○第3ステージ【熟達期】

経験に裏打ちされ、熟練した実践的指導力をもとに、範を示すなど、後進の育成に当たっている。学校全体を支えるリーダーの一人として、これまでの豊富な経験を生かし、広い視野で組織的な運営・経営を行っている。

また、学校を活性化するための体制や環境づくりを推進している。さらに、家庭や地域との協働活動における自身の役割を意識して行動している姿を目指している。

※ 全ての成長段階を一律に分けるのではなく、2段階、3段階、4段階と柔軟に示している。

※ 各ステージで身に付けた資質・能力が基礎となり、その上に次のステージの資質・能力が加わっていく「資質・能力のグラデーション」となっている。



※ 管理職については、資質・能力向上の状況をステージで捉えるのではなく、「校長」「副校長」「教頭」という職位で分けて示している。

3 求められる資質・能力について

各校種の教諭用は「素養」「担任力」「授業力」「協働力」、養護教諭用と栄養教諭用については「素養」「担任力」「専門的職務実践力」「協働力」、管理職用については「素養」「学校マネジメント力」を位置付け、それぞれにおいてさらに具体的に設定している。

○教諭用

素 養	「使命感・情熱・たくましさ」「倫理観」「人権尊重の精神」「識見・学び続ける力」「社会性・コミュニケーション力」
担任力	◇小学校教諭・中学校教諭・高等学校教諭 「児童生徒理解・指導力」「集団づくり力」「課題解決力」「特別な配慮を要する児童生徒への理解・支援力」「未来ビジョン育成力」 ◇特別支援学校教諭 「幼児児童生徒理解・指導力」「目標の明確化・実態把握力」「集団づくり力」「課題解決力」「未来ビジョン育成力」
授業力	「カリキュラムマネジメント力」「授業構想力」「授業実践力」「授業省察力・改善力」
協働力	「組織マネジメント力」「OJT推進・人材育成力」「危機管理力」「家庭・地域とのネットワーク構築力」

○養護教諭用

教諭用の育成指標の「授業力」の部分に、「専門的職務実践力」として、次の資質・能力

を位置付ける。

専門的職務 実践力	「保健管理」「保健教育」「健康相談」「保健組織活動」「保健室経営」
--------------	-----------------------------------

○栄養教諭用

教諭用の育成指標の「授業力」の部分に、「専門的職務実践力」として、次の資質・能力を位置付ける。

専門的職務 実践力	「学校給食の管理」「個別的な相談指導」「教科等における教育指導」「食育コーディネーターとしての連携・調整」「食に関する指導と学校給食の管理の一体的な展開」
--------------	---

○管理職用

素 養	「使命感・責任感」「倫理観」「リーダーシップ・決断力」「先見性・識見」「社会性・人間関係構築力」
学校マネジメント力	「企画経営力」「組織づくり力」「危機管理能力」「学校資源整備・活用力」「人材育成力」「連携・交渉力」「職場環境づくり力」

※「担任力」は、児童生徒一人ひとりを大切にし、個性や可能性を伸長・発揮させるために、学級（ホームルーム）の経営はもとより、学年、委員会活動、部活動等、児童生徒が活動する集団の担任として、全ての教員に求められる資質・能力である。

※「未来ビジョン育成力」は、学ぶこと・働くことの意義や社会の形成における自己の役割を理解し、将来を描き課題解決に向けて主体的に行動する力を児童生徒に育成するために、キャリア教育・消費者教育・主権者教育の視点に立ち、教育活動を展開する資質・能力である。徳島教育大綱に示されている「未来を切り拓く」力の育成と大きく関わる。

※主幹教諭については、各校種の教諭用の指標における「第3ステージ（熟達期）」の資質・能力に加え、管理職用の指標における「教頭」につながる資質・能力を有しているものとする。

※指導教諭については、各校種の教諭用の指標における「第3ステージ（熟達期）」の資質・能力を有し、リーダーシップを発揮しているものとする。

IV とくしま教員育成指標の活用例

管 理 職	○学校経営ビジョンに基づく，組織的な人材育成 ○自身の現時点での資質・能力の把握と資質向上
教 員	○自身の現時点での資質・能力の把握と資質向上 ○自身のキャリアアップの目標設定の手がかり
教育委員会	○中・長期的な視野に立った計画的・組織的な人材育成 ○研修体系の構築と新たな研修プログラムの開発

V とくしま教員育成指標を踏まえた教職員研修

「とくしま教員育成指標」を踏まえて研修体系を再構築し，教職生活全体を通じて「学び続ける教員」を支えるため，新たに「とくしま教職員研修計画」を策定し，平成30年度から実施する。

◇教職員の業務に対する不安を和らげ，教職生活の円滑なスタートのために
採用前研修

◇教職経験に応じて，必要な知識・技能等の習得のために
フレッシュ研修Ⅰ・Ⅱ ジャンプアップ研修 ミドルリーダー研修Ⅰ・Ⅱ
エキスパート研修

◇学校や地域におけるリーダーシップを育成するために
リーダーシップ養成研修

◇指導技術や指導方法，担当した職務等に応じた専門性の向上のために
学校リーダー研修 主幹教諭・指導教諭研修 等

※この他にも「特別研修」「認定講習」「大学・研究機関等研修」「派遣研修」等を実施

- ・教職員個々の能力，ニーズに対応し，教育実践に役立つ実効性のある研修を実施する。
- ・OFF-JT（県立総合教育センター等で行う研修等，学校外における研修）を通じて，自己啓発やOJT推進への意欲を高める。
- ・授業力の向上に関する研修に関して，先輩教員と後輩教員とが共に学び合うマッチング方式を取り入れる。
- ・ミドルリーダーの育成に向けて，マネジメント力（組織マネジメント，カリキュラムマネジメント）やコーチング力の向上に関する研修を充実する。
- ・実施日数の平準化，eラーニングやサテライト方式による研修を推進することにより，参加しやすい環境を構築する。

とくしま教員育成指標

キャリアステージ 資質・能力		採用時に本県が求める姿	〈第1ステージ〉		〈第2ステージ〉		〈第3ステージ〉
		養成期	基盤形成期	伸長・充実期	深化・発展期	熟達期	
素養	使命感・情熱・たくましさ	○教育的愛情と熱意をもって教育活動に臨もうとしている。	○「とくしま」を愛し、徳島教育大綱に示されている「人財」の育成を目指し、使命感と情熱をもって、たくましく、粘り強く教育活動に取り組んでいる。	○使命感と教職への誇り、たくましい精神力と柔軟性をもって、教育活動を推進している。			
	倫理観	○社会人としての常識やマナー、道徳性を身に付け、法令遵守の精神に基づいた行動をしている。	○教育公務員としての自覚をもち、法令等を遵守し、誠実かつ公正に職責を遂行し、家庭や地域の信頼を得ている。	○家庭や地域の信頼に応え、法令等の遵守を周囲の教職員に働きかけ、組織の志気を高めている。			
	人権尊重の精神	○自他を大切にし、人権感覚を身に付け、互いに尊重し合う人間関係を築いている。	○児童一人ひとりの抱えている悩みや願いを把握し、差別やいじめを許さない集団をつくるとともに、教育的愛情をもち、人権を尊重し、行動している。	○学校や地域の人権に関する課題の解決に向けて、関係機関等とともに取り組み、人権尊重の精神が高まるよう家庭や地域に広めている。			
	識見・学び続ける力	○学び続ける意欲をもち、他者の意見を謙虚に受け止めている。	○知見を広げ、物事を的確に判断するとともに、主体的に研修に取り組んでいる。	○豊かな経験に裏打ちされた識見を有し、課題意識と探究心をもって自己研鑽に努めるとともに、範を示している。			
	社会性・コミュニケーション力	○コミュニケーションスキルを身に付け、他者と積極的に関わり、助け合っている。	○教職員、家庭や地域と幅広く関わり、自分の考えを適切に伝えながら、助け合っている。	○組織のコミュニケーションを活性化するとともに、管理職や学年・職種等の異なる教職員とのパイプ役となり、支え合う環境づくりをしている。			
担任力	児童生徒理解・指導力	○児童理解の意義を理解し、生徒指導や教育相談等の基本的な方法を身に付けている。	○児童に向き合い、一人ひとりの人格を尊重し、共感的理解に努めるとともに、社会的資質や行動力を高めるよう指導・支援をしている。	○児童の発達や個性等をより多面的に理解し、長期的な視野をもって社会的資質や行動力を獲得できるよう意図的・計画的に指導・支援をするとともに、若手教員に助言をしている。	○児童を深く理解し、細やかな配慮をするとともに、全ての教職員で児童の理解や指導・支援の方針について共通理解を図る環境づくりをしている。		
	集団づくり力	○担任の職務内容や集団づくりの意義を理解し、学級経営の基本的な指導方法を身に付けている。	○学級集団をはじめ、児童会やクラブ活動等の集団の経営方針を基に、それぞれ一貫性のある指導・支援をしている。	○異年齢集団等様々な集団活動に対して、よりよい集団に高めるとともに、集団相互の関わりを活性化させている。	○学校全体の集団づくりの取組を視野に入れ、活性化させるための具体的方策を提案している。		
	課題解決力	○学校生活の中で生じる様々な課題の発見と対応の方法について理解し、積極的に課題解決に取り組もうとしている。	○様々な課題に気付き、児童、保護者、他の教職員と相談しながら、的確に課題解決を図っている。	○課題の未然防止や迅速な発見に努め、必要に応じて専門家と連携しながら課題解決を図り、その様々な方策について若手教員に助言をしている。	○学校が直面する様々な課題を把握し、組織的できめ細やかな指導・支援が行われるよう働きかけている。		
	特別な配慮を要する児童生徒への理解・支援力	○特別支援教育の重要性を理解し、基本的な指導・支援の方法を身に付けている。	○一人ひとりの教育的ニーズを把握し、他の教職員や保護者と相談しながら、適切に指導・支援をしている。	○教育的ニーズに対応するための専門性を高め、児童の成長を促す指導・支援を行うとともに、関係機関とも連携し、特性に応じた指導・支援の在り方を提案している。	○インクルーシブ教育システム構築に向けた体制づくりを推進している。		
	未来ビジョン育成力	○キャリア教育・消費者教育・主権者教育の重要性を理解し、基本的な指導方法を身に付けている。	○キャリア教育・消費者教育・主権者教育の視点を踏まえた学習の場を設定し、児童の自己有用感を高めつつ、自立した生活、社会の形成における自己の役割について理解できる素地を育てる指導をしている。	○グローバルな視野と低・中・高学年のキャリア教育・消費者教育・主権者教育の視点を踏まえ、異年齢集団を組織したり、他校種や家庭、地域、企業、関係機関等との連携を図ったりしながら、あらゆる教育活動を通じて指導・支援をしている。	○学校の教育活動全体を通じて、キャリア教育・消費者教育・主権者教育の視点を踏まえた指導が充実するよう、助言をしている。		

キャリアステージ 資質・能力		採用時に本県が求める姿		〈第1ステージ〉		〈第2ステージ〉		〈第3ステージ〉		
		養成期		基盤形成期		伸長・充実期		深化・発展期		
授業力	カリキュラムマネジメント力	○学習指導要領の「目標」「内容」や系統等を理解している。	○児童の実態に応じ、作成の意図を考えながら、学校のカリキュラムを活用している。	○児童の実態や新たな教育課題に対応するため、目的や意図を明確にしたカリキュラムを提案している。	○各学年間の系統や幼・小・中・高の接続を見通して、学校の特色を生かした創意工夫のあるカリキュラムを作成している。	○地域の実態や学校の教育活動全体を踏まえながら、カリキュラムを見直し、組織的に改善したり調整したりしている。	○学力調査・学校評価等の結果に基づき、学校の課題を把握し、改善策を組織的に展開している。	○学力調査・学校評価等の結果に基づき、学校の課題を把握し、改善策を組織的に展開している。	○学力調査・学校評価等の結果に基づき、学校の課題を把握し、改善策を組織的に展開している。	
	授業構想力	○児童の活動の姿や思考の流れを想定しながら、教材を分析し、学習指導案を書いている。	○児童の実態に応じ、育成を目指す資質・能力の定着に向け、目標と評価を関係付けて授業を構想している。	○児童一人ひとりに応じ、育成を目指す資質・能力の定着を図るため、創意工夫のある授業を構想したり、教材開発に取り組んだりしている。	○各学年間の系統や幼・小・中・高の接続を見通して、学校の特色を生かした創意工夫のあるカリキュラムを作成している。	○これまでの実践や経験を基に、単元・題材の開発や授業構想に関する専門性を高め、改善につながる助言をしている。	○これまでの実践や経験を基に、単元・題材の開発や授業構想に関する専門性を高め、改善につながる助言をしている。	○これまでの実践や経験を基に、単元・題材の開発や授業構想に関する専門性を高め、改善につながる助言をしている。	○これまでの実践や経験を基に、単元・題材の開発や授業構想に関する専門性を高め、改善につながる助言をしている。	
	授業実践力	○基本的な指導技術を身に付け、児童の学習の様子を把握しながら授業を実践しようとしている。	○育成を目指す資質・能力の定着に向け、発問・板書・ICT機器等の指導技術を活用している。	○最新の知見に基づいた指導技術や指導方法を活用し、授業を展開するとともに、若手教員に助言をしている。	○各学年間の系統や幼・小・中・高の接続を見通して、学校の特色を生かした創意工夫のあるカリキュラムを作成している。	○幅広い情報を基に自分の指導技術や指導方法を更新しつつ、範を示したり、授業力向上を働きかけたりしている。	○幅広い情報を基に自分の指導技術や指導方法を更新しつつ、範を示したり、授業力向上を働きかけたりしている。	○幅広い情報を基に自分の指導技術や指導方法を更新しつつ、範を示したり、授業力向上を働きかけたりしている。	○幅広い情報を基に自分の指導技術や指導方法を更新しつつ、範を示したり、授業力向上を働きかけたりしている。	○幅広い情報を基に自分の指導技術や指導方法を更新しつつ、範を示したり、授業力向上を働きかけたりしている。
	授業省察力・改善力	○授業を分析して改善する手立てを理解し、実践しようとしている。	○自分の授業を振り返り改善する習慣や、他の教員の授業に学ぶ習慣が身に付いている。	○校内や郡市の研究会等で研究授業を積極的に行うとともに、助言を受けて、自分の授業を客観的に評価し、授業改善につなげている。	○各学年間の系統や幼・小・中・高の接続を見通して、学校の特色を生かした創意工夫のあるカリキュラムを作成している。	○幅広い情報を基に自分の指導技術や指導方法を更新しつつ、範を示したり、授業力向上を働きかけたりしている。	○幅広い情報を基に自分の指導技術や指導方法を更新しつつ、範を示したり、授業力向上を働きかけたりしている。	○幅広い情報を基に自分の指導技術や指導方法を更新しつつ、範を示したり、授業力向上を働きかけたりしている。	○幅広い情報を基に自分の指導技術や指導方法を更新しつつ、範を示したり、授業力向上を働きかけたりしている。	○幅広い情報を基に自分の指導技術や指導方法を更新しつつ、範を示したり、授業力向上を働きかけたりしている。
協働力	組織マネジメント力	○組織の一員として目標と自分の役割を理解し、協働して責任を果たそうとしている。	○学校の経営方針を理解し、報告・連絡・相談を適切に行いながら、日々の教育活動に協働して取り組んでいる。	○グループの強みと弱みを分析したり、PDCAサイクルを活用したりしながら、組織を活性化させている。	○グループリーダーとして、創意工夫や企画力を発揮し他のグループとも連携・調整をしながら、組織を活性化させている。	○学校目標の達成に向け、「チーム学校」としての組織力が発揮できるよう率先して工夫改善に努め、学校全体の教育計画の作成に参画している。	○学校目標の達成に向け、「チーム学校」としての組織力が発揮できるよう率先して工夫改善に努め、学校全体の教育計画の作成に参画している。	○学校目標の達成に向け、「チーム学校」としての組織力が発揮できるよう率先して工夫改善に努め、学校全体の教育計画の作成に参画している。	○学校目標の達成に向け、「チーム学校」としての組織力が発揮できるよう率先して工夫改善に努め、学校全体の教育計画の作成に参画している。	
	○J T推進・人材育成力	○互いの課題や悩みを解決するため情報交換を積極的に行うとともに、先輩教員に相談したり助言を求めたりしている。	○互いの課題や学級の共有を図るとともに、若手教員の範となるよう努めている。	○互いの課題や学級の共有を図るとともに、若手教員の範となるよう努めている。	○校内研修を充実させるとともに、若手教員に助言をしている。	○人材育成の重要性を踏まえ、○J Tを計画的・継続的に進め、支え合い、学び合う環境づくりをしている。	○人材育成の重要性を踏まえ、○J Tを計画的・継続的に進め、支え合い、学び合う環境づくりをしている。	○人材育成の重要性を踏まえ、○J Tを計画的・継続的に進め、支え合い、学び合う環境づくりをしている。	○人材育成の重要性を踏まえ、○J Tを計画的・継続的に進め、支え合い、学び合う環境づくりをしている。	
	危機管理能力	○安全教育・防災教育をはじめ危機管理の重要性を理解し、危険を察知したとき、状況に応じた行動をしている。	○安全教育・防災教育をはじめ危機管理に関する知識を身に付け、早期発見や想定外の事態への対応に努め、緊急時に自分の役割を果たしている。	○危機管理に対する意識を高め、危険を予測して行動するとともに、安全に配慮した環境づくりをしている。	○緊急時のシミュレーションを行い、対応を考え、グループの中心となって未然防止に向け行動している。	○これまでの経験を生かし、地域と協働した創意工夫のある安全教育・防災教育の取組を発信したり、危機管理体制づくりに参画したりしている。	○これまでの経験を生かし、地域と協働した創意工夫のある安全教育・防災教育の取組を発信したり、危機管理体制づくりに参画したりしている。	○これまでの経験を生かし、地域と協働した創意工夫のある安全教育・防災教育の取組を発信したり、危機管理体制づくりに参画したりしている。	○これまでの経験を生かし、地域と協働した創意工夫のある安全教育・防災教育の取組を発信したり、危機管理体制づくりに参画したりしている。	○これまでの経験を生かし、地域と協働した創意工夫のある安全教育・防災教育の取組を発信したり、危機管理体制づくりに参画したりしている。
	家庭・地域とのネットワーク構築力	○家庭や地域と連携する重要性を理解し、ボランティア活動や地域の行事等へ参加している。	○家庭や地域との連携・協働の意義を踏まえ、家庭や地域と積極的に関わり、協働に取り組んでいる。	○地域の教育資源(人材・施設・伝統行事等)についての情報を把握し、その活用を図っている。	○家庭や地域に働きかけ、教育活動を充実させるためのネットワークを形成している。	○地域における学校の役割を認識し、家庭や地域と協働する教育活動を推進している。	○地域における学校の役割を認識し、家庭や地域と協働する教育活動を推進している。	○地域における学校の役割を認識し、家庭や地域と協働する教育活動を推進している。	○地域における学校の役割を認識し、家庭や地域と協働する教育活動を推進している。	○地域における学校の役割を認識し、家庭や地域と協働する教育活動を推進している。

とくしま教員育成指標

キャリアステージ 資質・能力		採用時に本県が求める姿	〈第1ステージ〉		〈第2ステージ〉		〈第3ステージ〉
		養成期	基盤形成期	伸長・充実期	深化・発展期	熟達期	
素養	使命感・情熱・たくましさ	○教育的愛情と熱意をもって教育活動に臨もうとしている。	○「とくしま」を愛し、徳島教育大綱に示されている「人財」の育成を目指し、使命感と情熱をもって、たくましく、粘り強く教育活動に取り組んでいる。	○使命感と教職への誇り、たくましい精神力と柔軟性をもって、教育活動を推進している。			
	倫理観	○社会人としての常識やマナー、道徳性を身に付け、法令遵守の精神に基づいた行動をしている。	○教育公務員としての自覚をもち、法令等を遵守し、誠実かつ公正に職責を遂行し、家庭や地域の信頼を得ている。	○家庭や地域の信頼に応え、法令等の遵守を周囲の教職員に働きかけ、組織の志気を高めている。			
	人権尊重の精神	○自他を大切にし、人権感覚を身に付け、互いに尊重し合う人間関係を築いている。	○生徒一人ひとりの抱えている悩みや願いを把握し、差別やいじめを許さない集団をつくるとともに、教育的愛情をもち、人権を尊重し、行動している。	○学校や地域の人権に関する課題の解決に向けて、関係機関等とともに取り組み、人権尊重の精神が高まるよう家庭や地域に広めている。			
	識見・学び続ける力	○学び続ける意欲をもち、他者の意見を謙虚に受け止めている。	○知見を広げ、物事を的確に判断するとともに、主体的に研修に取り組んでいる。	○豊かな経験に裏打ちされた識見を有し、課題意識と探究心をもって自己研鑽に努めるとともに、範を示している。			
	社会性・コミュニケーション力	○コミュニケーションスキルを身に付け、他者と積極的に関わり、助け合っている。	○教職員、家庭や地域と幅広く関わり、自分の考えを適切に伝えながら、助け合っている。	○組織のコミュニケーションを活性化するとともに、管理職や学年・職種等の異なる教職員とのパイプ役となり、支え合う環境づくりをしている。			
担任力	児童生徒理解・指導力	○生徒理解の意義を理解し、生徒指導や教育相談等の基本的な方法を身に付けている。	○生徒に向き合い、一人ひとりの人格を尊重し、共感的理解に努めるとともに、社会的資質や行動力を高めるよう指導・支援をしている。	○生徒の発達や個性等をより多面的に理解し、長期的な視野をもって社会的資質や行動力を獲得できるよう意図的・計画的に指導・支援をするとともに、若手教員に助言をしている。	○生徒を深く理解し、細やかな配慮をするとともに、全ての教職員で生徒の理解や指導・支援の方針について共通理解を図る環境づくりをしている。		
	集団づくり力	○担任の職務内容や集団づくりの意義を理解し、学級経営の基本的な指導方法を身に付けている。	○学級集団をはじめ、生徒会や部活動等の集団の経営方針を基に、それぞれ一貫性のある指導・支援をしている。	○異年齢集団等様々な集団活動に対して、よりよい集団に高めるとともに、集団相互の関わりを活性化させている。	○学校全体の集団づくりの取組を視野に入れ、活性化させるための具体的な方策を提案している。		
	課題解決力	○学校生活の中で生じる様々な課題の発見と対応の方法について理解し、積極的に課題解決に取り組もうとしている。	○様々な課題に気づき、生徒、保護者、他の教職員と相談しながら、的確に課題解決を図っている。	○課題の未然防止や迅速な発見に努め、必要に応じて専門家と連携しながら課題解決を図り、その様々な方策について若手教員に助言をしている。	○学校が直面する様々な課題を把握し、組織的できめ細やかな指導・支援が行われるよう働きかけている。		
	特別な配慮を要する児童生徒への理解・支援力	○特別支援教育の重要性を理解し、基本的な指導・支援の方法を身に付けている。	○一人ひとりの教育的ニーズを把握し、他の教職員や保護者と相談しながら、適切に指導・支援をしている。	○教育的ニーズに対応するための専門性を高め、生徒の成長を促す指導・支援を行うとともに、関係機関とも連携し、特性に応じた指導・支援の在り方を提案している。	○インクルーシブ教育システム構築に向けた体制づくりを推進している。		
	未来ビジョン育成力	○キャリア教育・消費者教育・主権者教育の重要性を理解し、基本的な指導方法を身に付けている。	○キャリア教育・消費者教育・主権者教育の視点を踏まえた学習の場を設定し、一人ひとりの進路選択、自立した生活、社会の形成における自己の役割について理解できるよう指導し、自覚を促している。	○発達段階に応じて、グローバルな視野とキャリア教育・消費者教育・主権者教育の視点を踏まえ、学校種をこえた連携や、家庭、地域、企業、関係機関等との連携を図りながら、あらゆる教育活動を通じて指導・支援をしている。	○学校の教育活動全体を通じて、キャリア教育・消費者教育・主権者教育の視点を踏まえた指導が充実するよう、助言をしている。		

キャリアステージ 資質・能力		採用時に本県が求める姿		〈第1ステージ〉		〈第2ステージ〉		〈第3ステージ〉	
		養成期		基盤形成期		伸長・充実期		深化・発展期	
授業力	カリキュラムマネジメント力	○学習指導要領の「目標」「内容」や系統等を理解している。	○生徒の実態に応じ、作成の意図を考えながら、学校のカリキュラムを活用している。	○学力調査・学校評価等の結果を、日々の授業改善に結び付けている。	○生徒の実態や新たな教育課題に対応するため、目的や意図を明確にしたカリキュラムを提案している。	○各学年間の系統や幼・小・中・高の接続を見通して、学校の特色を生かした創意工夫のあるカリキュラムを作成している。	○地域の実態や学校の教育活動全体を踏まえながら、カリキュラムを見直し、組織的に改善したり調整したりしている。	○学力調査・学校評価等の結果に基づき、学校の課題を把握し、改善策を組織的に展開している。	
	授業構想力	○生徒の活動の姿や思考の流れを想定しながら、教材を分析し、担当教科等の学習指導案を書いている。	○生徒の実態に応じ、担当教科等の育成を目指す資質・能力の定着に向け、目標と評価を関係付けて授業を構想している。		○生徒一人ひとりに応じ、担当教科等における育成を目指す資質・能力の定着を図るため、創意工夫のある授業を構想したり、教材開発に取り組んだりしている。		○これまでの実践や経験を基に、担当教科等における単元・題材の開発や授業構想に関する専門性を高め、改善につながる助言をしている。		
	授業実践力	○基本的な指導技術を身に付け、生徒の学習の様子を把握しながら授業を実践しようとしている。	○育成を目指す資質・能力の定着に向け、発問・板書・ICT機器等の指導技術を活用している。	○生徒の習得状況を目標に照らして評価し、指導・支援をしている。	○最新の知見に基づいた指導技術や指導方法を活用し、授業を展開するとともに、若手教員に助言をしている。	○学びの質や長期的な変容にも目を向けて、一人ひとりの習得状況を把握し、補充的・発展的な指導・支援をしている。	○幅広い情報を基に自分の指導技術や指導方法を更新しつつ、範を示したり、授業力向上を働きかけたりしている。	○個と集団の質的な学習の深まりを把握し、意図的・計画的な指導・支援をしている。	
	授業省察力・改善力	○授業を分析して改善する手立てを理解し、実践しようとしている。	○自分の授業を振り返り改善する習慣や、他の教員の授業に学ぶ習慣が身に付いている。		○校内や郡市の研究会等で研究授業を積極的に行うとともに、助言を受けて、自分の授業を客観的に評価し、授業改善につなげている。		○学校全体の授業改善に取り組み環境づくりに努め、教員の個性を生かす助言をしている。		
協働力	組織マネジメント力	○組織の一員として目標と自分の役割を理解し、協働して責任を果たそうとしている。	○学校の経営方針を理解し、報告・連絡・相談を適切に行いながら、日々の教育活動に協働して取り組んでいる。	○校務分掌等の業務内容を理解し、計画的に職務遂行に努めている。	○グループの強みと弱みを分析したり、PDCAサイクルを活用したりしながら、組織を活性化させている。	○グループリーダーとして、創意工夫や企画力を発揮し他のグループとも連携・調整をしながら、組織を活性化させている。	○学校目標の達成に向け、「チーム学校」としての組織力が発揮できるよう率先して工夫改善に努め、学校全体の教育計画の作成に参画している。	○組織全体を俯瞰し、業務の効率化を推進している。	
	○JIT推進・人材育成力		○互いの課題や悩みを解決するため情報交換を積極的に行うとともに、先輩教員に相談したり助言を求めたりしている。	○互いの課題や学びの共有を図るとともに、若手教員の範となるよう努めている。	○校内研修を充実させるとともに、若手教員に助言をしている。	○人材育成の重要性を踏まえ、○JITを計画的・継続的に進め、支え合い、学び合う環境づくりをしている。			
	危機管理能力	○安全教育・防災教育をはじめ危機管理の重要性を理解し、危険を察知したとき、状況に応じた行動をしている。	○安全教育・防災教育をはじめ危機管理に関する知識を身に付け、早期発見や想定外の事態への対応に努め、緊急時に自分の役割を果たしている。		○危機管理に対する意識を高め、危険を予測して行動するとともに、安全に配慮した環境づくりをしている。	○緊急時のシミュレーションを行い、対応を考え、グループの中心となって未然防止に向け行動している。	○これまでの経験を生かし、地域と協働した創意工夫のある安全教育・防災教育の取組を発信したり、危機管理体制づくりに参画したりしている。		
	家庭・地域とのネットワーク構築力	○家庭や地域と連携する重要性を理解し、ボランティア活動や地域の行事等へ参加している。	○家庭や地域との連携・協働の意義を踏まえ、家庭や地域と積極的に関わり、協働活動に取り組んでいる。		○地域の教育資源(人材・施設・伝統行事等)についての情報を把握し、その活用を図っている。	○家庭や地域に働きかけ、教育活動を充実させるためのネットワークを形成している。	○地域における学校の役割を認識し、家庭や地域と協働する教育活動を推進している。		

とくしま教員育成指標

キャリアステージ		採用時に本県が求める姿	〈第1ステージ〉		〈第2ステージ〉		〈第3ステージ〉
資質・能力		養成期	基盤形成期	伸長・充実期	深化・発展期	熟達期	
素養	使命感・情熱・たくましさ	○教育的愛情と熱意をもって教育活動に臨もうとしている。	○「とくしま」を愛し、徳島教育大綱に示されている「人財」の育成を目指し、使命感と情熱をもって、たくましく、粘り強く教育活動に取り組んでいる。	○使命感と教職への誇り、たくましい精神力と柔軟性をもって、教育活動を推進している。			
	倫理観	○社会人としての常識やマナー、道徳性を身に付け、法令遵守の精神に基づいた行動をしている。	○教育公務員としての自覚をもち、法令等を遵守し、誠実かつ公正に職責を遂行し、家庭や地域の信頼を得ている。	○家庭や地域の信頼に応え、法令等の遵守を周囲の教職員に働きかけ、組織の志気を高めている。			
	人権尊重の精神	○自他を大切にし、人権感覚を身に付け、互いに尊重し合う人間関係を築いている。	○生徒一人ひとりの抱えている悩みや願いを把握し、差別やいじめを許さない集団をつくるとともに、教育的愛情をもち、人権を尊重し、行動している。	○学校や地域の人権に関する課題の解決に向けて、関係機関等とともに取り組み、人権尊重の精神が高まるよう家庭や地域に広めている。			
	識見・学び続ける力	○学び続ける意欲をもち、他者の意見を謙虚に受け止めている。	○知見を広げ、物事を的確に判断するとともに、主体的に研修に取り組んでいる。	○豊かな経験に裏打ちされた識見を有し、課題意識と探究心をもって自己研鑽に努めるとともに、範を示している。			
	社会性・コミュニケーション力	○コミュニケーションスキルを身に付け、他者と積極的に関わり、助け合っている。	○教職員、家庭や地域と幅広く関わり、自分の考えを適切に伝えながら、助け合っている。	○組織のコミュニケーションを活性化するとともに、管理職や学年・職種等の異なる教職員とのパイプ役となり、支え合う環境づくりをしている。			
担任力	児童生徒理解・指導力	○生徒理解の意義を理解し、生徒指導や教育相談等の基本的な方法を身に付けている。	○生徒に向き合い、一人ひとりの人格を尊重し、共感的理解に努めるとともに、社会的資質や行動力を高めるよう指導・支援をしている。	○生徒の発達や個性等をより多面的に理解し、長期的な視野をもって社会的資質や行動力を獲得できるよう意図的・計画的に指導・支援をするとともに、若手教員に助言をしている。	○生徒を深く理解し、細やかな配慮をするとともに、全ての教職員で生徒の理解や指導・支援の方針について共通理解を図る環境づくりをしている。		
	集団づくり力	○担任の職務内容や集団づくりの意義を理解し、ホームルーム経営の基本的な指導方法を身に付けている。	○ホームルームをはじめ、生徒会や部活動等の集団の経営方針を基に、それぞれ一貫性のある指導・支援をしている。	○様々な集団活動に対して、よりよい集団に高めるとともに、集団相互の関わりを活性化させている。	○学校全体の集団づくりの取組を視野に入れ、活性化させるための具体的方策を提案している。		
	課題解決力	○学校生活の中で生じる様々な課題の発見と対応の方法について理解し、積極的に課題解決に取り組もうとしている。	○様々な課題に気づき、生徒、保護者、他の教職員と相談しながら、的確に課題解決を図っている。	○課題の未然防止や迅速な発見に努め、必要に応じて専門家と連携しながら課題解決を図り、その様々な方策について若手教員に助言をしている。	○学校が直面する様々な課題を把握し、組織的できめ細やかな指導・支援が行われるよう働きかけている。		
	特別な配慮を要する児童生徒への理解・支援力	○特別支援教育の重要性を理解し、基本的な指導・支援の方法を身に付けている。	○一人ひとりの教育的ニーズを把握し、他の教職員や保護者と相談しながら、適切に指導・支援をしている。	○教育的ニーズに対応するための専門性を高め、生徒の成長を促す指導・支援を行うとともに、関係機関とも連携し、特性に応じた指導・支援の在り方を提案している。	○インクルーシブ教育システム構築に向けた体制づくりを推進している。		
	未来ビジョン育成力	○キャリア教育・消費者教育・主権者教育の重要性を理解し、基本的な指導方法を身に付けている。	○キャリア教育・消費者教育・主権者教育の視点を踏まえた学習の場を設定し、生徒が勤労観・職業観を確立するとともに、自立した生活、社会における自己の役割についての認識を深め、社会を形成する一員として主体的に行動できるよう指導している。	○グローバルな視野とキャリア教育・消費者教育・主権者教育の視点を踏まえ、社会的な自立に向けて、家庭、地域、企業、関係機関等との連携を図りながら、あらゆる教育活動を通じて指導・支援をしている。	○キャリア教育・消費者教育・主権者教育の視点に基づいた指導が充実するよう助言するとともに、家庭、地域、企業、関係機関等との連携を推進している。		

キャリアステージ		採用時に本県が求める姿	〈第1ステージ〉		〈第2ステージ〉		〈第3ステージ〉
資質・能力		養成期	基盤形成期	伸長・充実期	深化・発展期	熟達期	
授業力	カリキュラムマネジメント力	○学習指導要領の「目標」「内容」や系統等を理解している。	○生徒の実態に応じ、作成の意図を考えながら、学校のカリキュラムを活用している。 ○学力調査・学校評価等の結果を、日々の授業改善に結び付けている。	○生徒の実態や新たな教育課題に対応するため、目的や意図を明確にしたカリキュラムを提案している。	○各学年間の系統や幼・小・中・高の接続を見通して、学校の特色を生かした創意工夫のあるカリキュラムを作成している。	○地域の実態や学校の教育活動全体を踏まえながら、カリキュラムを見直し、組織的に改善したり調整したりしている。 ○学力調査・学校評価等の結果に基づき、学校の課題を把握し、改善策を組織的に展開している。	
	授業構想力	○生徒の活動の姿や思考の流れを想定しながら、教材を分析し、教科・科目等の学習指導案を書いている。	○生徒の実態に応じ、教科・科目等の育成を目指す資質・能力の定着に向け、目標と評価を関係付けて授業を構想している。	○教科・科目等における専門性に対応した指導力を高め、生徒の実態に即して、生涯にわたる社会生活や専門的な学習につながる単元や授業を構想している。	○これまでの実践や経験により培われた、高度な専門性に対応した知識・技能や収集した最新の情報を基に、改善につながる助言をしている。		
	授業実践力	○基本的な指導技術を身に付け、生徒の学習の様子を把握しながら授業を実践しようとしている。	○育成を目指す資質・能力の定着に向け、発問・板書・ICT機器等の指導技術を活用している。 ○生徒の習得状況を目標に照らして評価し、指導・支援をしている。	○最新の知見に基づいた指導技術や指導方法を活用し、授業を展開するとともに、若手教員に助言をしている。	○幅広い情報を基に自分の指導技術や指導方法を更新しつつ、範を示したり、授業力向上を働きかけたりしている。		
	授業省察力・改善力	○授業を分析して改善する手立てを理解し、実践しようとしている。	○自分の授業を振り返り改善する習慣や、他の教員の授業に学ぶ習慣が身に付いている。	○研究会等で研究授業を積極的に行うとともに、助言を受けて、自分の授業を客観的に評価し、授業改善につなげている。	○学校全体の授業改善に取り組み環境づくりに努め、教員の個性を生かす助言をしている。		
協働力	組織マネジメント力	○組織の一員として目標と自分の役割を理解し、協働して責任を果たそうとしている。	○学校の経営方針を理解し、報告・連絡・相談を適切に行いながら、日々の教育活動に協働して取り組んでいる。 ○校務分掌等の業務内容を理解し、計画的に職務遂行に努めている。	○グループの強みと弱みを分析したり、PDCAサイクルを活用したりしながら、組織を活性化させている。 ○校務分掌等の業務を、周囲の教職員と調整しながら遂行している。	○グループリーダーとして、創意工夫や企画力を発揮し他のグループとも連携・調整をしながら、組織を活性化させている。 ○校務分掌等の業務の工夫改善を図るとともに、若手教員に助言をしている。	○学校目標の達成に向け、「チーム学校」としての組織力が発揮できるよう率先して工夫改善に努め、学校全体の教育計画の作成に参画している。 ○組織全体を俯瞰し、業務の効率化を推進している。	
	○J・T推進・人材育成力		○互いの課題や悩みを解決するため情報交換を積極的に行うとともに、先輩教員に相談したり助言を求めたりしている。	○互いの課題や学びの共有を図るとともに、若手教員の範となるよう努めている。	○校内研修を充実させるとともに、若手教員に助言をしている。	○人材育成の重要性を踏まえ、○J・Tを計画的・継続的に進め、支え合い、学び合う環境づくりをしている。	
	危機管理能力	○安全教育・防災教育をはじめ危機管理の重要性を理解し、危険を察知したとき、状況に応じた行動をしている。	○安全教育・防災教育をはじめ危機管理に関する知識を身に付け、早期発見や想定外の事態への対応に努め、緊急時に自分の役割を果たしている。	○危機管理に対する意識を高め、危険を予測して行動するとともに、安全に配慮した環境づくりをしている。	○緊急時のシミュレーションを行い、対応を考え、グループの中心となって未然防止に向け行動している。	○これまでの経験を生かし、地域と協働した創意工夫のある安全教育・防災教育の取組を発信したり、危機管理体制づくりに参画したりしている。	
	家庭・地域とのネットワーク構築力	○家庭や地域と連携する重要性を理解し、ボランティア活動や地域の行事等へ参加している。	○家庭や地域との連携・協働の意義を踏まえ、家庭や地域と積極的に関わり、協働に取り組んでいる。	○地域の教育資源(人材・施設・伝統行事等)についての情報を把握し、その活用を図っている。	○家庭や地域に働きかけ、教育活動を充実させるためのネットワークを形成している。	○地域における学校の役割を認識し、家庭や地域と協働する教育活動を推進している。	

とくしま教員育成指標

キャリアステージ		採用時に本県が求める姿	〈第1ステージ〉		〈第2ステージ〉		〈第3ステージ〉
資質・能力		養成期	基盤形成期	伸長・充実期	深化・発展期	熟達期	
素養	使命感・情熱・たくましさ	○教育的愛情と熱意をもって教育活動に臨もうとしている。	○「とくしま」を愛し、徳島教育大綱に示されている「人財」の育成を目指し、使命感と情熱をもって、たくましく、粘り強く教育活動に取り組んでいる。	○使命感と教職への誇り、たくましい精神力と柔軟性をもって、教育活動を推進している。			
	倫理観	○社会人としての常識やマナー、道徳性を身に付け、法令遵守の精神に基づいた行動をしている。	○教育公務員としての自覚をもち、法令等を遵守し、誠実かつ公正に職責を遂行し、家庭や地域の信頼を得ている。	○家庭や地域の信頼に応え、法令等の遵守を周囲の教職員に働きかけ、組織の志気を高めている。			
	人権尊重の精神	○自他を大切にし、人権感覚を身に付け、互いに尊重し合う人間関係を築いている。	○幼児児童生徒一人ひとりの抱えている悩みや願いを把握し、差別やいじめを許さない集団をつくるとともに、教育的愛情をもち、人権を尊重し、行動している。	○学校や地域の人権に関する課題の解決に向けて、関係機関等とともに取り組み、人権尊重の精神が高まるよう家庭や地域に広めている。			
	識見・学び続ける力	○学び続ける意欲をもち、他者の意見を謙虚に受け止めている。	○知見を広げ、物事を的確に判断するとともに、主体的に研修に取り組んでいる。	○豊かな経験に裏打ちされた識見を有し、課題意識と探究心をもって自己研鑽に努めるとともに、範を示している。			
	社会性・コミュニケーション力	○コミュニケーションスキルを身に付け、他者と積極的に関わり、助け合っている。	○教職員、家庭や地域と幅広く関わり、自分の考えを適切に伝えながら、助け合っている。	○組織のコミュニケーションを活性化するとともに、管理職や学年・職種等の異なる教職員とのパイプ役となり、支え合う環境づくりをしている。			
担任力	幼児児童生徒理解・指導力	○幼児児童生徒理解の意義を理解し、生徒指導や教育相談等の基本的な方法を身に付けている。	○幼児児童生徒に向き合い、一人ひとりの人格を尊重し、共感的理解に努めるとともに、社会的資質や行動力を高めるよう指導・支援をしている。	○幼児児童生徒の発達や個性等をより多面的に理解し、長期的な視野をもって社会的資質や行動力を獲得できるよう意図的・計画的に指導・支援をするとともに、若手教員に助言をしている。		○幼児児童生徒を深く理解し、細やかな配慮をするとともに、全ての教職員で幼児児童生徒の理解や指導・支援の方針について共通理解を図る環境づくりをしている。	
	目標の明確化・実態把握力	○幼児児童生徒の実態把握の必要性を認識し、指導目標を明確にしようとしている。	○個々に応じたアセスメントにより、幼児児童生徒一人ひとりの障がい特性を知り特に配慮を必要とする様々な状態を理解している。	○各種発達心理検査、一般職業適性検査結果の活用や、課題分析等の客観的な根拠に基づいた実態把握に取り組み、指導目標を明確にしている。		○障がい特性理解を深めるための効果的な研修の方策を理解し、教職員に研修を促したり、助言をしたりしている。	
	集団づくり力	○担任の職務内容や集団づくりの意義を理解し、学級経営の基本的な指導方法を身に付けている。	○一斉授業において、個別目標に対応した題材を設定したり、役割をもたせたりして、集団づくりの工夫を行っている。	○内容により学級、学年、学部で行うもの、他の学部と合同で行うもの等の集団構成を行い、幼児児童生徒同士のコミュニケーションを活発にし、自発的なコミュニケーションが増えるような集団づくりに積極的に取り組んでいる。		○学校全体の集団づくりの取組を視野に入れ、活性化させるための具体的方策を提案している。	
	課題解決力	○学校生活の中で生じる様々な課題の発見と対応の方法について理解し、積極的に課題解決に取り組もうとしている。	○他の教職員や専門家のアドバイスを受けながら、特別支援教育の最新の知見に基づいた指導方法や指導技術を身に付けている。	○幼児児童生徒の障がい特性や指導の結果をもとに、自分の指導方法の修正を行うとともに、必要に応じて専門家と連携しながら、複数の教職員と課題発見や課題解決に向けてチームで取り組んでいる。		○学校が直面する様々な課題を把握し、組織的できめ細やかな指導・支援が行われるよう働きかけている。	
	未来ビジョン育成力	○キャリア教育・消費者教育・主権者教育の重要性を理解し、基本的な指導方法を身に付けている。	○個別的教育支援計画や個別の指導計画にキャリア教育・消費者教育・主権者教育の視点からの目標を設定し、一人ひとりの社会的・職業的自立の目標達成に向け、日々の指導・援助をしている。	○発達段階に応じて、グローバルな視野とキャリア教育・消費者教育・主権者教育の視点を踏まえ、学校種をこえた連携や、家庭、地域、就労支援機関、企業、福祉施設、関係機関等との連携を図りながら、あらゆる教育活動を通じて指導・助言をしている。		○学校の教育活動全体を通じて、キャリア教育・消費者教育・主権者教育の視点を踏まえた指導が充実するよう、助言をしている。	

キャリアステージ 資質・能力		採用時に本県が求める姿	<第1ステージ>		<第2ステージ>		<第3ステージ>
		養成期	基盤形成期	伸長・充実期	深化・発展期	熟達期	
授業力	カリキュラムマネジメント力	○教育要領・学習指導要領の「目標」「内容」や系統等を理解している。	○幼児児童生徒の実態に応じ、作成の意図を考えながら、学校のカリキュラムを活用している。	○幼児児童生徒の実態や新たな教育課題に対応するため、目的や意図を明確にしたカリキュラムを提案している。	○各学年間の系統や幼・小・中・高の接続を見通して、学校の特色を生かした創意工夫のあるカリキュラムを作成している。	○地域の実態や学校の教育活動全体を踏まえながら、カリキュラムを見直し、組織的に改善したり調整したりしている。	
	授業構想力	○幼児児童生徒の障がいや発達段階に適した授業イメージをもち、学習指導案を作成している。	○アセスメントや客観的な根拠に基づいた幼児児童生徒の個別の指導計画や年間指導計画に沿って、日々の保育や授業を構想している。	○幼児児童生徒一人ひとりに応じ、育成を目指す資質・能力の定着を図るため、創意工夫のある授業を構想したり、教材開発に取り組んだりしている。		○これまでの実践や経験を基に、単元・題材の開発や授業構想に関する専門性を高め、改善につながる助言をしている。	
	授業実践力	○基本的な指導技術を身に付け、幼児児童生徒の学習の様子を把握しながら授業等を実践しようとしている。	○各授業において目標設定や指導内容・方法を考え、個々の幼児児童生徒の実態に即した教材・教具の活用による適切な指導・援助を行っている。	○学びの質や長期的な変容にも目を向けて、幼児児童生徒一人ひとりの習得状況を把握するとともに、適切に補充的・発展的な指導・援助を行っている。		○幅広い情報を基に自分の指導技術や指導方法を更新しつつ、範を示したり、授業力向上を働きかけたりしている。	
	授業省察力・改善力	○授業を分析して改善する手立てを理解し、実践しようとしている。	○授業の目標に沿った具体的な学習成果の記録や自己評価を行い、授業改善を行っている。	○学習の習熟度や学習への参加状況を「～ができる」というポジティブな行動レベルで評価しており、担任と幼児児童生徒に関わる教員間で指導の効果を確認しながら、授業改善を行っている。		○様々な障がいのある幼児児童生徒の授業について、学校全体の授業改善に取り組む環境づくりに努め、教員の個性を生かす助言をしている。	
協働力	組織マネジメント力	○組織の一員として目標と自分の役割を理解し、協働して責任を果たそうとしている。	○学校の経営方針を理解し、報告・連絡・相談を適切に行いながら、日々の教育活動に協働して取り組んでいる。 ○校務分掌等の業務内容を理解し、計画的に職務遂行に努めている。	○グループの強みと弱みを分析したり、PDCAサイクルを活用したりしながら、組織を活性化させている。 ○校務分掌等の業務を、周囲の教職員と調整しながら遂行している。	○グループリーダーとして、創意工夫や企画力を発揮し他のグループとも連携・調整をしながら、組織を活性化させている。 ○校務分掌等の業務の工夫改善を図るとともに、若手教員に助言をしている。	○学校目標の達成に向け、「チーム学校」としての組織力が発揮できるよう率先して工夫改善に努め、学校全体の教育計画の作成に参画している。 ○組織全体を俯瞰し、業務の効率化を推進している。	
	○JIT推進・人材育成力		○互いの課題や悩みを解決するため情報交換を積極的に行うとともに、先輩教員に相談したり助言を求めたりしている。	○互いの課題や学びの共有を図るとともに、若手教員の範となるよう努めている。	○校内研修を充実させるとともに、若手教員に助言をしている。	○人材育成の重要性を踏まえ、○JITを計画的・継続的に進め、支え合い、学び合う環境づくりをしている。	
	危機管理能力	○安全教育・防災教育をはじめ危機管理の重要性を理解し、危険を察知したとき、状況に応じた行動をしている。	○安全教育・防災教育をはじめ危機管理に関する知識を身に付け、早期発見や想定外の事態への対応に努め、緊急時に自分の役割を果たしている。	○危機管理に対する意識を高め、危険を予測して行動するとともに、安全に配慮した環境づくりをしている。	○緊急時のシミュレーションを行い、対応を考え、グループの中心となって未然防止に向け行動している。	○これまでの経験を生かし、地域と協働した創意工夫のある安全教育・防災教育の取組を発信したり、危機管理体制づくりに参画したりしている。	
	家庭・地域とのネットワーク構築力	○家庭や地域と連携する重要性を理解し、ボランティア活動や地域の行事等へ参加している。	○家庭や地域との連携・協働の意義を踏まえ、家庭や地域と積極的に関わり、協働に取り組んでいる。	○地域の教育資源(人材・施設・伝統行事等)についての情報を把握し、その活用を図っている。	○家庭や地域に働きかけ、教育活動を充実させるためのネットワークを形成している。	○地域における学校の役割を認識し、家庭や地域と協働する教育活動を推進している。	

とくしま教員育成指標

キャリアステージ		採用時に本県が求める姿	＜第1ステージ＞		＜第2ステージ＞		＜第3ステージ＞
資質・能力		養成期	基盤形成期	伸長・充実期	深化・発展期	熟達期	
素養	使命感・情熱・たくましさ	○教育的愛情と熱意をもって教育活動に臨もうとしている。	○「とくしま」を愛し、徳島教育大綱に示されている「人財」の育成を目指し、使命感と情熱をもって、たくましく、粘り強く教育活動に取り組んでいる。	○使命感と教職への誇り、たくましい精神力と柔軟性をもって、教育活動を推進している。			
	倫理観	○社会人としての常識やマナー、道徳性を身に付け、法令遵守の精神に基づいた行動をしている。	○教育公務員としての自覚をもち、法令等を遵守し、誠実かつ公正に職責を遂行し、家庭や地域の信頼を得ている。	○家庭や地域の信頼に応え、法令等の遵守を周囲の教職員に働きかけ、組織の志気を高めている。			
	人権尊重の精神	○自他を大切にし、人権感覚を身に付け、互いに尊重し合う人間関係を築いている。	○児童生徒一人ひとりの抱えている悩みや願いを把握し、差別やいじめを許さない集団をつくるとともに、教育的愛情をもち、人権を尊重し、行動している。	○学校や地域の人権に関する課題の解決に向けて、関係機関等とともに取り組み、人権尊重の精神が高まるよう家庭や地域に広めている。			
	識見・学び続ける力	○学び続ける意欲をもち、他者の意見を謙虚に受け止めている。	○知見を広げ、物事を的確に判断するとともに、主体的に研修に取り組んでいる。	○豊かな経験に裏打ちされた識見を有し、課題意識と探究心をもって自己研鑽に努めるとともに、範を示している。			
	社会性・コミュニケーション力	○コミュニケーションスキルを身に付け、他者と積極的に関わり、助け合っている。	○教職員、家庭や地域と幅広く関わり、自分の考えを適切に伝えながら、助け合っている。	○組織のコミュニケーションを活性化するとともに、管理職や学年・職種等の異なる教職員とのパイプ役となり、支え合う環境づくりをしている。			
担任力	児童生徒理解・指導力	○児童生徒理解の意義を理解し、生徒指導や教育相談等の基本的な方法を身に付けている。	○児童生徒に向き合い一人ひとりの人格を尊重し、共感的理解に努めるとともに、社会的資質や行動力を高めるよう指導・支援をしている。	○児童生徒の発達や個性等をより多面的に理解し、長期的な視野をもって社会的資質や行動力を獲得できるよう意図的・計画的に指導・支援をするとともに、若手教員に助言をしている。	○児童生徒を深く理解し、細やかな配慮をするとともに、全ての教職員で児童生徒の理解や指導・支援の方針について共通理解を図る環境づくりをしている。		
	集団づくり力	○集団づくりの意義や基本的な指導方法を理解し、養護教諭としての指導方法を身に付けている。	○学級担任等と連携しながら、集団づくりの経営方針に沿ってよりよい集団に育てるために指導・支援をしている。	○異年齢集団等様々な集団活動の指導に積極的に関わり、集団相互の関わりを活性化させ、よりよい集団づくりに専門性を生かしながら取り組んでいる。	○学校全体の集団づくりの取組を視野に入れ、活性化させるための具体的方策を提案している。		
	課題解決力	○学校生活の中で生じる様々な課題の発見と対応の方法について理解し、積極的に課題解決に取り組もうとしている。	○様々な課題に気づき、児童生徒、保護者、他の教職員と相談しながら、的確に課題解決を図っている。	○課題の未然防止や迅速な発見に努め、必要に応じて専門家と連携しながら課題解決を図り、その様々な方策について若手教員に助言をしている。	○学校が直面する様々な課題を把握し、組織的できめ細やかな指導・支援が行われるよう働きかけている。		
	特別な配慮を要する児童生徒への理解・支援力	○特別支援教育の重要性を理解し、基本的な指導・支援の方法を身に付けている。	○一人ひとりの教育的ニーズを把握し、他の教職員や保護者と相談しながら、適切に指導・支援をしている。	○教育的ニーズに対応するための専門性を高め、児童生徒の成長を促す指導・支援を行うとともに、関係機関とも連携し、特性に応じた指導・支援の在り方を提案している。	○インクルーシブ教育システム構築に向けた体制づくりを推進している。		
	未来ビジョン育成力	○キャリア教育・消費者教育・主権者教育の重要性を理解し、基本的な指導方法を身に付けている。	○キャリア教育・消費者教育・主権者教育の視点を踏まえた学習の場を設定し、自立した生活、社会の形成における自己の役割について理解できるように指導し、自覚を促している。	○発達段階に応じて、グローバルな視野とキャリア教育・消費者教育・主権者教育の視点を踏まえ、学校種をこえた連携や、家庭、地域、企業、関係機関等との連携を図りながら、あらゆる教育活動を通じて指導・支援をしている。	○学校の教育活動全体を通じて、キャリア教育・消費者教育・主権者教育の視点を踏まえた指導が充実するよう、助言をしている。		

キャリアステージ 資質・能力		採用時に本県が求める姿		＜第1ステージ＞		＜第2ステージ＞		＜第3ステージ＞	
		養成期		基盤形成期		伸長・充実期	深化・発展期	熟達期	
専門的職務実践力	保健管理	○学校保健安全法を理解し、児童生徒の実態把握の方法や基本的な保健管理の方法を身に付けている。	○児童生徒の発達段階に応じて見られる心身の疾病や障がい等を理解し、個々の健康課題を把握し、適切に対応している。	○保健情報を総合的に評価し、学校全体の実態を捉え、健康課題の解決に向けて校内の中心となって対応するとともに予防的措置を講じている。		○校内の教職員や近隣の学校の養護教諭と連携し、保健管理について指導的役割を果たすとともに、組織的に健康課題の解決を図っている。			
	保健教育	○学習指導要領を理解し、養護教諭の専門性を生かした基本的な指導方法を身に付けている。	○養護教諭の役割を自覚し、学級担任等と連携し、専門性を生かした保健教育をしている。	○養護教諭の専門性を発揮し、児童生徒の実態に応じた保健教育を実践し、評価・改善するとともに、家庭へ広めている。		○社会状況の変化と実態に応じた全体計画を作成し、保健教育を推進している。			
	健康相談	○学校保健安全法による健康相談の位置付けを理解し、心身の発達段階における健康課題に対する基本的な支援の方法を身に付けている。	○健康相談の基本的なプロセスを理解し、児童生徒の心身の発達段階の課題や現代的な健康課題との関連を踏まえた健康相談を実施している。	○心身の健康課題を総合的に捉え、校内支援体制の充実に努めるとともに、学校医等の専門職や保護者と組織的に連携し、児童生徒に応じた支援方法を検討・評価しながら対応している。		○個々の健康課題から全体の課題を捉え、教職員の意識を高めるとともに、支援体制づくりに参画している。			
	保健組織活動	○保健組織活動の意義と学校保健に関する学校内外の協力体制の重要性を理解している。	○保健組織活動の意義を理解し、企画運営に参画している。	○保健組織活動が効果的に実践できるよう内容の工夫改善を図るとともに、学校全体の健康課題の解決に向けて連携を推進している。		○近隣の学校や保健所等の地域レベルでの健康づくりを推進している。			
	保健室経営	○保健室経営の在り方を理解し、基本的な保健室経営の方法を身に付けている。	○保健室の役割等を理解し、保健室経営計画に沿った実践・評価をしている。	○保健室経営の効果的な実践のため、最新の健康情報を得るとともに、工夫改善を図り、校内の健康教育のセンター的役割を果たしている。		○近隣の養護教諭や関係機関等との連携を密にするとともに、地域のリーダー的役割を果たし、保健室経営を効果的に実践している。			
協働力	組織マネジメント力	○組織の一員として目標と自分の役割を理解し、協働して責任を果たそうとしている。	○学校の経営方針を理解し、報告・連絡・相談を適切に行いながら、日々の教育活動に協働して取り組んでいる。	○グループの強みと弱みを分析したり、PDCAサイクルを活用したりしながら、組織を活性化させている。	○グループリーダーとして、創意工夫や企画力を発揮し他のグループとも連携・調整をしながら、組織を活性化させている。	○学校目標の達成に向け、「チーム学校」としての組織力が発揮できるよう率先して工夫改善に努め、学校全体の教育計画の作成に参画している。			
	○J T推進・人材育成力		○校務分掌等の業務内容を理解し、計画的に職務遂行に努めている。	○校務分掌等の業務を、周囲の教職員と調整しながら遂行している。	○校務分掌等の業務の工夫改善を図るとともに、若手教員に助言をしている。	○組織全体を俯瞰し、業務の効率化を推進している。			
	危機管理能力	○安全教育・防災教育をはじめ危機管理の重要性を理解し、危険を察知したとき、状況に応じた行動をしている。	○安全教育・防災教育をはじめ危機管理に関する知識を身に付け、早期発見や想定外の事態への対応に努め、緊急時に自分の役割を果たしている。	○危機管理に対する意識を高め、危険を予測して行動するとともに、安全に配慮した環境づくりをしている。	○緊急時のシミュレーションを行い、対応を考え、グループの中心となって未然防止に向け行動している。	○これまでの経験を生かし、地域と協働した創意工夫のある安全教育・防災教育の取組を発信したり、危機管理体制づくりに参画したりしている。			
	家庭・地域とのネットワーク構築力	○家庭や地域と連携する重要性を理解し、ボランティア活動や地域の行事等へ参加している。	○家庭や地域との連携・協働の意義を踏まえ、家庭や地域と積極的に関わり、協働に取り組んでいる。	○地域の教育資源(人材・施設・伝統行事等)についての情報を把握し、その活用を図っている。	○家庭や地域に働きかけ、教育活動を充実させるためのネットワークを形成している。	○地域における学校の役割を認識し、家庭や地域と協働する教育活動を推進している。			

とくしま教員育成指標

キャリアステージ 資質・能力	採用時に本県が求める姿	〈第1ステージ〉		〈第2ステージ〉		〈第3ステージ〉
	養成期	基盤形成期	伸長・充実期	深化・発展期	熟達期	
素養	使命感・情熱・たくましさ	○教育的愛情と熱意をもって教育活動に臨もうとしている。	○「とくしま」を愛し、徳島教育大綱に示されている「人財」の育成を目指し、使命感と情熱をもって、たくましく、粘り強く教育活動に取り組んでいる。	○使命感と教職への誇り、たくましい精神力と柔軟性をもって、教育活動を推進している。		
	倫理観	○社会人としての常識やマナー、道徳性を身に付け、法令遵守の精神に基づいた行動をしている。	○教育公務員としての自覚をもち、法令等を遵守し、誠実かつ公正に職責を遂行し、家庭や地域の信頼を得ている。	○家庭や地域の信頼に応え、法令等の遵守を周囲の教職員に働きかけ、組織の志気を高めている。		
	人権尊重の精神	○自他を大切にし、人権感覚を身に付け、互いに尊重し合う人間関係を築いている。	○児童生徒一人ひとりの抱えている悩みや願いを把握し、差別やいじめを許さない集団をつくるとともに、教育的愛情をもち、人権を尊重し、行動している。	○学校や地域の人権に関する課題の解決に向けて、関係機関等とともに取り組み、人権尊重の精神が高まるよう家庭や地域に広めている。		
	識見・学び続ける力	○学び続ける意欲をもち、他者の意見を謙虚に受け止めている。	○知見を広げ、物事を的確に判断するとともに、主体的に研修に取り組んでいる。	○豊かな経験に裏打ちされた識見を有し、課題意識と探究心をもって自己研鑽に努めるとともに、範を示している。		
	社会性・コミュニケーション力	○コミュニケーションスキルを身に付け、他者と積極的に関わり、助け合っている。	○教職員、家庭や地域と幅広く関わり、自分の考えを適切に伝えながら、助け合っている。	○組織のコミュニケーションを活性化するとともに、管理職や学年・職種等の異なる教職員とのパイプ役となり、支え合う環境づくりをしている。		
担任力	児童生徒理解・指導力	○児童生徒理解の意義を理解し、生徒指導や教育相談等の基本的な方法を身に付けている。	○児童生徒に向き合い一人ひとりの人格を尊重し、共感的理解に努めるとともに、社会的資質や行動力を高めるよう指導・支援をしている。	○児童生徒の発達や個性等をより多面的に理解し、長期的な視野をもって社会的資質や行動力を獲得できるよう意図的・計画的に指導・支援をするとともに、若手教員に助言をしている。	○児童生徒を深く理解し、細やかな配慮をするとともに、全ての教職員で児童生徒の理解や指導・支援の方針について共通理解を図る環境づくりをしている。	
	集団づくり力	○集団づくりの意義や集団づくりの基本的な指導方法を理解している。	○学級担任等と連携しながら、集団づくりの経営方針に沿ってよりよい集団に育てるために指導・支援をしている。	○異年齢集団等様々な集団活動の指導に積極的に関わり、集団相互の関わりを活性化させ、よりよい集団づくりに専門性を生かしながら取り組んでいる。	○学校全体の集団づくりの取組を視野に入れ、活性化させるための具体的方策を提案している。	
	課題解決力	○学校生活の中で生じる様々な課題の発見と対応の方法について理解し、積極的に課題解決に取り組もうとしている。	○様々な課題に気づき、児童生徒、保護者、他の教職員と相談しながら、的確に課題解決を図っている。	○課題の未然防止や迅速な発見に努め、必要に応じて専門家と連携しながら課題解決を図り、その様々な方策について若手教員に助言をしている。	○学校が直面する様々な課題を把握し、組織的できめ細やかな指導・支援が行われるよう働きかけている。	
	特別な配慮を要する児童生徒への理解・支援力	○特別支援教育の重要性を理解し、基本的な指導・支援の方法を身に付けている。	○一人ひとりの教育的ニーズを把握し、他の教職員や保護者と相談しながら、適切に指導・支援をしている。	○教育的ニーズに対応するための専門性を高め、児童生徒の成長を促す指導・支援を行うとともに、関係機関とも連携し、特性に応じた指導・支援の在り方を提案している。	○インクルーシブ教育システム構築に向けた体制づくりを推進している。	
	未来ビジョン育成力	○キャリア教育・消費者教育・主権者教育の重要性を理解し、基本的な指導方法を身に付けている。	○キャリア教育・消費者教育・主権者教育の視点を踏まえた学習の場を設定し、自立した生活、社会の形成における自己の役割について理解できるように指導し、自覚を促している。	○発達段階に応じて、グローバルな視野とキャリア教育・消費者教育・主権者教育の視点を踏まえ、学校種をこえた連携や、家庭、地域、企業、関係機関等との連携を図りながら、あらゆる教育活動を通じて指導・支援している。	○学校の教育活動全体を通じて、キャリア教育・消費者教育・主権者教育の視点を踏まえた指導が充実するよう、助言をしている。	

キャリアステージ 資質・能力	採用時に本県が求める姿	〈第1ステージ〉		〈第2ステージ〉		〈第3ステージ〉
	養成期	基盤形成期	伸長・充実期	深化・発展期	熟達期	
専門的職務実践力	学校給食の管理	○学校給食法を理解し、安全安心な学校給食管理を実践しようとしている。 ○学校給食に必要な調理技術を身に付けている。	○学校給食摂取基準に基づき、食品構成や調理作業工程を考慮した献立を作成している。 ○学校給食衛生管理基準に基づき、関係機関と連携しながら、適切な指導・助言及び管理を行っている。	○地域や「徳島ならではの」創意工夫のある献立を作成している。また、残食調査等による状況把握から適切な栄養管理を行うとともに、教職員への情報提供や助言をしている。 ○市町村内の全学校給食施設において、安全安心な給食業務ができるように、近隣の栄養教諭等と連携しながら、マニュアルを作成したり、助言をしたりしている。		○学校給食の運営管理に関し、各校や所属する市町村において指導的役割を果たしている。
	個別的な相談指導	○児童生徒の食生活の現状を認識し、個に応じた相談指導の重要性を理解している。	○個別的な相談指導の流れを理解し、学級担任や養護教諭と相談しながら、適切な対応をしている。	○校内食育推進組織の中で、児童生徒の状況を総合的に評価し、関係職員や学校医等と連携しながら適切な対応をしている。		○個別的な相談指導の実践に関し、近隣の栄養教諭や栄養教諭未配置校の教職員等に対し、経験を基に助言をしている。
	教科等における教育指導	○学習指導要領における食育の位置付けと、食育全体計画作成時の栄養教諭の役割を理解している。 ○食に関する指導の学習指導案作成や教材研究を行っている。	○食育全体計画を作成し、学級担任等と連携しながら、給食時間の指導及び教科等における食に関する授業に参画している。 ○指導を振り返ったり他の教員の授業を自分の指導の改善に生かしたりしている。	○児童生徒の実態に合わせた食育全体計画に沿って、食に関する授業に参画するとともに、食育実践を保護者等に発信することで、家庭や地域との連携を図っている。 ○校内及び市町村研究会等で、授業や実践発表を積極的に行うとともに、社会状況の変化に合わせた最新の知識や指導技術を取り入れ、指導の改善をしている。		○食育がより効果的に行われるよう、高い専門性を生かし、助言をしている。 ○これまで培ってきた指導技術や指導方法を提示し、栄養教諭の範となり、食育の取組を発信している。
	食育コーディネーターとしての連携・調整	○食育を推進するための、学校内外の連携の方法や、重要性を理解している。	○食育コーディネーターとして、市町村学校食育推進委員会の運営に関わっている。	○市町村内各校の食育全体計画の作成や円滑な実践のための支援をしている。 ○地域の生産者団体等と連携し、様々な体験活動を企画・調整する等、地域の食育推進に関わっている。		○食育コーディネーターの指導的立場となり、関係機関と連携を図りながら、市町村学校食育推進委員会の運営に中心となって関わっている。
	食に関する指導と学校給食の管理の一体的な展開	○食に関する指導と学校給食の特質を理解し、それらを一体的なものとして実践しようとしている。	○各教科等において、学校給食が「生きた教材」となるような献立づくりをしている。	○学校給食を「生きた教材」として活用するとともに、食に関する指導によって得られた知見や情報を給食管理に生かすことで、両者を一体のものとして展開している。		○学校給食の管理と食に関する指導の相乗効果が得られるように、教職員及び家庭、地域との連携を強化している。
協働力	組織マネジメント力	○組織の一員として目標と自分の役割を理解し、協働して責任を果たそうとしている。	○学校の経営方針を理解し、報告・連絡・相談を適切に行いながら、日々の教育活動に協働して取り組んでいる。 ○校務分掌等の業務内容を理解し、計画的に職務遂行に努めている。	○グループの強みや弱みを分析したり、PDCAサイクルを活用したりしながら、組織を活性化させている。 ○校務分掌等の業務を、周囲の教職員と調整しながら遂行している。	○グループリーダーとして、創意工夫や企画力を発揮し他のグループとも連携・調整をしながら、組織を活性化させている。 ○校務分掌等の業務の工夫改善を図るとともに、若手教員に助言をしている。	○学校目標の達成に向け、「チーム学校」としての組織力が発揮できるよう率先して工夫改善に努め、学校全体の教育計画の作成に参画している。 ○組織全体を俯瞰し、業務の効率化を推進している。
	○JIT推進・人材育成力		○互いの課題や悩みを解決するため情報交換を積極的に行うとともに、先輩教員に相談したり助言を求めたりしている。	○互いの課題や学びの共有を図るとともに、若手教員の範となるよう努めている。	○校内研修を充実させるとともに、若手教員に助言をしている。	○人材育成の重要性を踏まえ、○JITを計画的・継続的に進め、支え合い、学び合う環境づくりをしている。
	危機管理能力	○安全教育・防災教育をはじめ危機管理の重要性を理解し、危険を察知したとき、状況に応じた行動をしている。	○安全教育・防災教育をはじめ危機管理に関する知識を身に付け、早期発見や想定外の事態への対応に努め、緊急時に自分の役割を果たしている。	○危機管理に対する意識を高め、危険を予測して行動するとともに、安全に配慮した環境づくりをしている。	○緊急時のシミュレーションを行い、対応を考え、グループの中心となって未然防止に向け行動している。	○これまでの経験を生かし、地域と協働した創意工夫のある安全教育・防災教育の取組を発信したり、危機管理体制づくりに参画したりしている。
	家庭・地域とのネットワーク構築力	○家庭や地域と連携する重要性を理解し、ボランティア活動や地域の行事等へ参加している。	○家庭や地域との連携・協働の意義を踏まえ、家庭や地域と積極的に関わり、協働に取り組んでいる。	○地域の教育資源(人材・施設・伝統行事等)についての情報を把握し、その活用を図っている。	○家庭や地域に働きかけ、教育活動を充実させるためのネットワークを形成している。	○地域における学校の役割を認識し、家庭や地域と協働する教育活動を推進している。

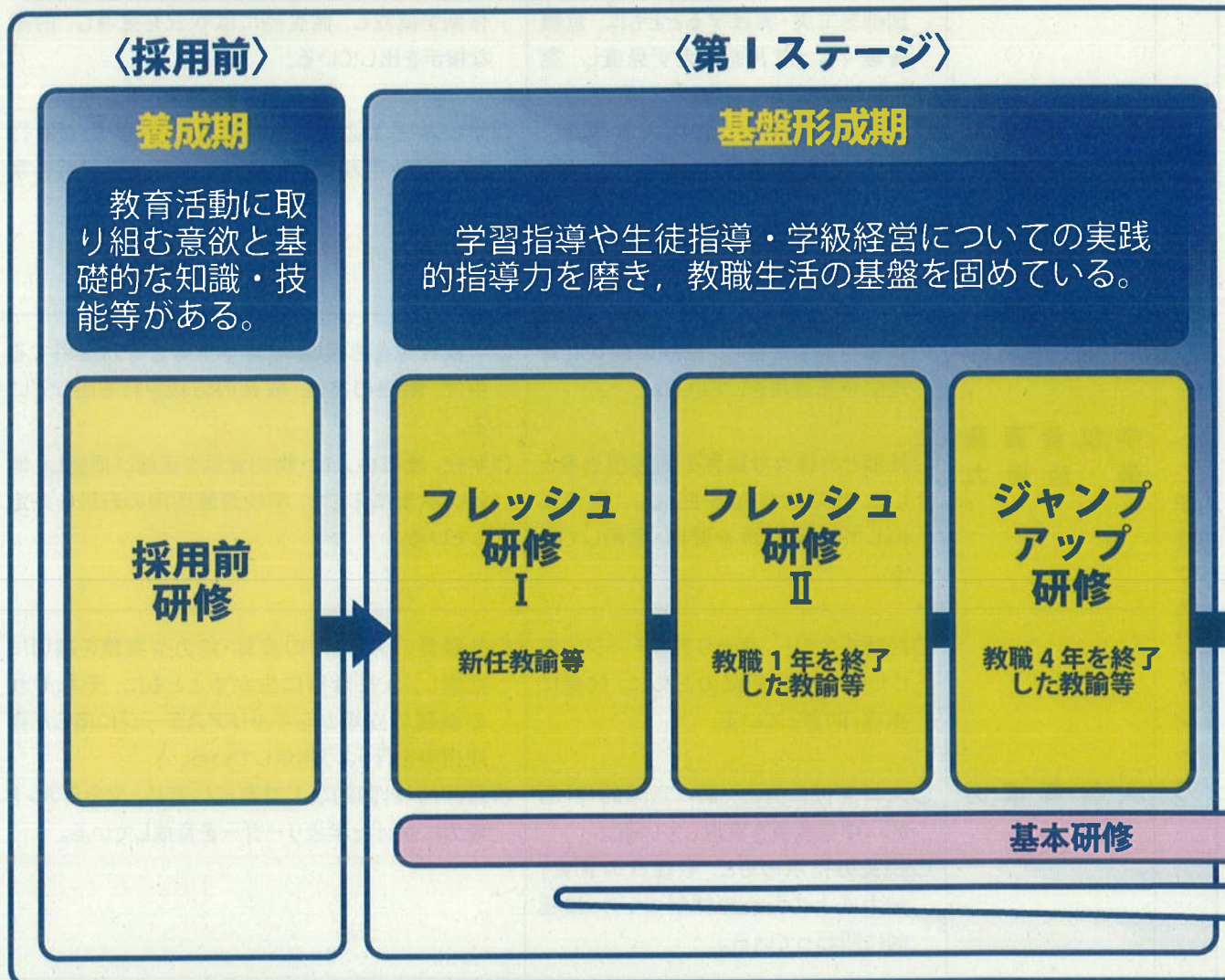
とくしま教員育成指標

職位 資質・能力		教 頭	副校長	校 長
素 養	使命感・責任感	○校長を補佐する自覚をもち、校務全般を把握するとともに、それらが円滑に機能するよう、責任感をもって自分の役割を果たしている。	○学校の最高責任者としての覚悟をもち、法令等に基づいて適正な学校経営を行い、よりよい児童生徒の育成に使命感をもって取り組んでいる。	
	倫 理 観	○法令を遵守し、鋭い人権感覚のもと、誠実かつ公正に職務を遂行するとともに、教職員に対してもコンプライアンスに関する的確な指導をしている。	○鋭い人権感覚と規範意識に基づき、職務を遂行するとともに、教育公務員としての職責や義務を教職員に示している。	
	リーダーシップ・決 断 力	○組織のリーダーとしての自覚をもち、的確で迅速な判断と指示を行い、校務を遂行している。	○豊かな人間性と経験に裏打ちされた高い識見に基づき、冷静に状況を見極めて最終決断をしている。	
	先見性・識見	○最新の情報を収集し、学校に対する社会の要請を自覚し、情報を基に適切な判断をしている。	○学校を取り巻く状況を把握し、児童生徒の将来を見通した学校経営ビジョンの形成に生かしている。	
	社会性・人間関係構築力	○家庭、地域、学校関係者や関係機関等との関係性を高め、協働的な関係を築いている。	○家庭、地域、学校関係者や関係機関等と広く関わり、信頼関係を築いている。	
学 校 マ ネ ジ メ ン ト 力	企画経営力	○「徳島教育大綱」や「教育振興計画」の理念を理解し、校長の指導のもと、具体目標の立案やその実現に向けた方策を提案している。 ○常に新しいものを創り出すチャレンジ精神をもち、教育を取り巻く社会の変化に対応した企画力を備えている。 ○学校経営方針に基づき、学校や地域の実態を踏まえたカリキュラムマネジメントを推進するために、教職員に指導・助言し、学校全体で取り組む体制づくりをしている。 ○学校評価等の結果を分析し、PDCAサイクルに基づいて教育活動の改善を提案・実践している。	○「徳島教育大綱」や「教育振興計画」の趣旨を生かした中・長期的な経営ビジョンを明確にし、時代の潮流を見据えて学校経営方針を策定している。 ○国の動向や県の教育施策を熟知し、新たな教育環境を生み出す企画経営力を備えている。 ○学校経営方針に基づき、具体的目標や重点目標を掲げ、家庭や地域を巻き込んだカリキュラムマネジメントを確立している。 ○学校の教育活動や学校経営の課題を的確に把握するための計画的な評価改善に努め、新たな企画に生かしている。	
	組織づくり力	○組織の全体像を把握するとともに、学校教育目標に沿った体制整備をしている。 ○組織運営に関わる外部・内部環境を把握し、学校の強みを見出している。 ○教員評価を実施し、その結果を基に一人ひとりのもつ能力を積極的に引き出すとともに、教職員の自己有用感を高め、「チーム学校」を活性化している。	○学校教育目標の実現のために、多面的な視点から組織を統括している。 ○組織全体を俯瞰し、学校の強みを生かした組織づくりを行っている。 ○学校の教育活動が効率よく最大の効果があげられるように、教員評価の結果を生かし、「チーム学校」を牽引している。	

職位 資質・能力		教 頭	副校長	校 長
学校マネジメント力	危機管理能力	<ul style="list-style-type: none"> ○災害や想定外の事態の発生に備え、訓練を工夫・実践するとともに、危機管理マニュアルを絶えず見直し、発生時には迅速に対応している。 ○学校運営上必要な校内人事・施設・事務(財務・文書等)を管理している。 ○学校環境の安全を絶えず点検し、課題について適切に対応している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○災害や想定外の事態の発生に備え、危機管理体制を確立し、発生時には状況を見通し、的確な指示を出している。 ○学校経営上必要な所属職員の管理・監督を行い、施設・事務(財務・文書等)の管理状況を掌握している。 	
	学校資源整備・活用力	<ul style="list-style-type: none"> ○教育予算を把握し、施設の適切な管理や予算運用をしている。 ○外部との様々な調整の実務担当者として、地域の実態を把握し、実情に応じて学校資源を整備・活用している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学校資源を把握し、教育予算等を有効活用する中で、組織の持続・成長の方策を打ち出している。 ○学校、地域の人的・物的資源を正確に把握し、地域の状況に応じて、学校資源活用の方針を策定している。 	
	人材育成力	<ul style="list-style-type: none"> ○経験を生かし、キャリアステージに応じた教職員の育成のために、的確に指導・助言している。 ○人材発掘に努め、常に意図的・計画的に中核教員を育成している。 ○校長の指示のもと、教職員の資質・能力向上のための体制づくりに積極的に関わっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○教職員一人ひとりの資質・能力や実績を適切に把握し、人材活用に生かすとともに、それぞれの職務の立場からキャリアステージに応じた育成指導を行うよう指示している。 ○意図的・計画的な人材育成に努め、マネジメント能力に長けた学校リーダーを育成している。 	
	連携・交渉力	<ul style="list-style-type: none"> ○家庭、地域や関係機関等と連携し、情報を共有しながら、協働活動に取り組んでいる。 ○家庭や地域との連携において、教職員を支援している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○家庭、地域や関係機関等との協働活動を積極的に推進し、地域に根ざした学校づくりを行っている。 ○教育委員会や関係機関等と適切に連携し、調整・折衝を行いながら学校の課題解決につなげている。 	
	職場環境づくり力	<ul style="list-style-type: none"> ○教職員の長時間労働解消やメンタルヘルスの保持増進に率先して取り組んでいる。 ○教職員間のコミュニケーションを活性化し、相互理解を促進するとともに、課題の解決や合意形成が協働的に行われるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ワーク・ライフ・バランスを推進し、職場環境における課題の解決を図り、効率がよく働きやすい職場づくりをしている。 ○教職員間の関係性に配慮し、互いに信頼し、認め合う風通しのよい職場づくりを行っている。 	

とくしま教職員研修体系

キャリアステージに応じた研修



目的やニーズに応じた研修

職務研修 (Job Training)

- 職責・職能等に応じた知識・技能等を習得し、職務遂行の能力の向上を図るための研修講座
- 学力向上, 道德教育, 人権教育, 生徒指導, 保健, 安全, 防災教育に関わる教職員の研修
 - 特別支援教育に関わる教職員の研修
 - 食育に関わる教職員の研修
 - 事務, 司書, 技師, 実習に関わる教職員の研修 等

希望研修 (Desired Training)

- 自己の教育課題の解決のために、自由を選択して学ぶことができる。次の3種類があり、様々な教育活動に関わるニーズに応えるための研修講座
- 専門・課題
 - 教科等
 - 情報教育「ICT活用指導力向上研修」

特別研修 (Special Training)

- 喫緊の教育課題の把握と解決を図るために国や県の施策を受けて重点的に進めていく研修講座
- 英語教育に関する研修
 - ICT活用に関する研修
 - 防災教育に関する研修
 - 人権教育に関する研修
 - 道德教育に関する研修
 - あわ文化教育に関する研修 等

〈第2ステージ〉

伸長・充実期 深化・発展期

実践的指導力に関する専門性を高めるとともに、ミドルリーダーとしての推進力を発揮している。

ミドルリーダー研修Ⅰ

教職9年を終了した教諭等

ミドルリーダー研修Ⅱ

教職15年を終了した教諭等

〈第3ステージ〉

熟達期

経験に裏打ちされ、熟達した実践的指導力を基に、後進の育成にあっている。リーダーとして、広い視野で組織的な運営を行っている。

リーダーシップ養成研修

主幹教諭研修
指導教諭研修

学校リーダー研修

校長研修
新任校長等研修
副校長・教頭研修
新任教頭等研修

エキスパート研修 (職務研修, 希望研修, 派遣研修 等)

推薦研修

市町村教育委員会や学校からの推薦を受けて実施する研修講座

- 教育課程研究集会
- 複式学級指導者研修講座
- 幼稚園等マネジメント研修
- 学校体育指導者講習会
- 薬物乱用防止教育研修会 等

大学・研究機関等研修

教育活動に関する各分野の専門性を高めるために、県内大学、研究機関等で実施される研修講座

鳴門教育大学、徳島大学、徳島文理大学、四国大学、徳島工業短期大学、農業大学校、徳島県立博物館、阿南市科学センターで実施

教育職員免許法認定講習

特別支援学校の普通免許を取得するための研修講座

派遣研修

海外、文部科学省、大学、関係諸機関等、学校以外の施設に派遣され、職務上必要な専門知識・技能の習得及び社会の構成員としての視野の拡大を図る研修講座

